

# 福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	疼痛医学講座(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 31: 361-365
Issue Date	2021-03-19
URL	<a href="http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1485">http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1485</a>
Rights	©2021 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2021-12-04T10:08:49Z

猪狩貴弘, 大歳憲一, 兼子陽太, 増子遼介, 嶋原智彦, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 紺野慎一. 高校野球選手における尺骨神経脱臼の有病割合と尺骨神経障害との関連. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

## 疼痛医学講座

### 論 文

〔原 著〕

Yabuki S, Ip AKK, Tam CK, Murakami T, Ushida T, Wang JH, Shin HK, Sun WZ, Williamson OD. Evidence-based recommendations on the pharmacological management of osteoarthritis and chronic low back pain: An Asian consensus. *Asian Journal of Anesthesiology*. 201906; 57(2):37-54.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Tominaga R, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S; DISTO project working group. Reference values of the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis and characteristics of deterioration of QOL: Lumbar Spinal Stenosis Diagnosis Support Tool: DISTO project. *Journal of Orthopaedic Science*. 201907; 24(4):584-589.

Kawamata M, Iseki M, Kawakami M, Yabuki S, Sasaki T, Ishida M, Nishiyori A, Hida H, Kikuchi S. Efficacy and safety of controlled-release oxycodone for the management of moderate-to-severe chronic low back pain in Japan: results of an enriched enrollment randomized withdrawal study followed by an open-label extension study. *Journal of Pain Research*. 201901; 12:363-375.

Takahashi N, Takatsuki K, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary pain management program for patients with chronic musculoskeletal pain in Japan: a cohort study. *Journal of Pain Research*. 201908; 12:2563-2576.

岩崎 稔, 高橋直人, 二瓶健司, 笠原 諭, 矢吹省司. テーマ新時代への挑戦: 日本人にあったチーム医療、集学的治療、慢性痛に対する運動療法の自己管理法. *Journal of Musculoskeletal Pain Research*. 201910; 11(3):295-302.

高橋直人, 矢吹省司. 入院による集学的治療におけるリハビリテーション診療の意義. *Monthly Book Medical Rehabilitation*. 201911; 242:68-76.

高橋直人, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛に対する集学的痛み治療 —入院型ペインマネジメントプログラム—. *PAIN RESEARCH*. 201903; 34(1):44-56.

高橋直人. 【患者さんが笑顔で過ごせるために あなたが解決! 痛みとしびれ みんなの対応法を一挙公開!】 周術期の痛みとしびれ対策 周術期の看護師のかかわり. *整形外科看護*. 201908; 24(8):783-786.

半田隼一, 矢吹省司. 加齢に伴う運動器の変化と理学療法 加齢に伴う腰椎の変化 1. 理学療法. 2019;12:36(12):1129-1138.

## 著 書・訳 書

矢吹省司. 腰痛症. In: 泉 孝英 編. ガイドライン外来診療 2019. 東京: 日経メディカル開発; 2019. p.267-272.

矢吹省司. 腰痛、背部痛. In: 伴信太郎, 山本和利 編. 内科学書 改訂第9版 Vol.1. 東京: 中山書店; 2019. p.442-445.

矢吹省司. 四肢痛. In: 伴信太郎, 山本和利 編. 内科学書 改訂第9版 Vol.1. 東京: 中山書店; 2019. p.445-447.

## 研究発表等

### 〔研究発表〕

Nikaido T, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Characteristics of neuropathic pain due to lumbar spine disorders: Relationship with recognition of pain, psychiatric problems, and HR-QoL. 46th ISSLS Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Takahashi N, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary pain management program for the patients with chronic low back pain Japan. 46th ISSLS Annual Meeting; 20190703-08; Kyoto.

Kobayashi H, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Handa J, Otani K, Yabuki S, Konno S. Surgical outcome of posterior minimum invasive surgery using spinal instruments for pelvic ring injury. 19th Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery; 20190807-11; Suzhou, China.

國島麻実子, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 転移性髄内腫瘍の治療経験-1例報告-. 第29回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

二階堂琢也, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎外科レジストリの成果と今後の課題. 第29回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

結城拓也, 大谷晃司, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎砂時計腫術後15年で頸椎砂時計腫を発症した1例. 第29回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

二階堂琢也, 大谷晃司, 関口美穂, 猪狩貴弘, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 地域住民における傍脊柱筋の脂肪変性と腰部椎管狭窄との関係 南会津スタディ. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):545.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 矢吹省司, 紺野慎一. 足10秒テストを用いた腰仙椎部疾患における下肢運動機能の定量評価-第2報: 術後5年フォローアップによる経時的変化の検討. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手の腰痛—メディカルサポートは有用か—. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

二階堂琢也, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎疾患による神経障害性疼痛の特徴—痛みの認知, 心理的問題, QOL との関係—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(2):S122.

大谷晃司, 菊地臣一, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 一般住民における腰部脊柱管狭窄症と腰痛との関係—南会津スタディより—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

小林 洋, 大谷晃司, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 10 秒テストと握力を用いた頸髄症スクリーニングツールの開発—利き手と左右差を用いたスコアリングシステム—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

二階堂琢也, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎疾患による神経障害性疼痛の特徴—痛みの認知, 心理的問題, QOL との関係—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する手術療法—平成における当科の治療法の返還—. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

猪股洋平, 高橋直人, 遠藤康二郎, 高橋洋子, 立石 琢, 矢吹省司. 運動器慢性痛に対し多職種による入院型集学的痛み治療により奏功した 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190622; 盛岡.

高橋直人, 久保 均, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 集学的痛み治療を受けた運動器慢性痛患者における MR スペクトロコピーを用いた網羅的解析. 第 41 回日本疼痛学会; 20190712; 名古屋.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手における腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

加藤欽志, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 椎間関節性腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 足 10 秒テストを用いた腰仙椎部疾患における下肢運動機能の定量評価—第 2 報: 術後 5 年フォローアップによる経時的変化の検討—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手における腰痛調査の結果から. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 慢性腰痛に対する

リエゾンアプローチ. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 慢性腰痛に対する集学的痛み治療—入院型ペインマネジメントプログラム後の追跡調査—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913; 神戸.

高橋直人, 久保 均, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 集学的痛み治療を受けた運動器慢性痛患者における MR スペクトロスコピーを用いた網羅的解析. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017; 横浜.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. アスリートにおける腰椎椎間関節障害の診断. 第 22 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会; 20191128-29; 高松.

戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤浩, 紺野慎一, 矢部博興. 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術集会; 20191128-30; 福島. 臨床神経生理学. 47(5):448.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 紺野慎一. 慢性腰痛の診断と治療—集学的治療の現状と課題—. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術大会; 20191128-29; 福島.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛の誘因の有無が入院型ペインマネジメントプログラムの効果に及ぼす影響. 第 12 回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S62.

岩崎 稔, 高橋直人, 大内美穂, 二瓶健司, 恩田 啓, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 強直性脊椎炎による安静時仙腸関節痛に対し体幹筋力向上トレーニングが奏功した症例. 第 12 回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S106.

二瓶健司, 高橋直人, 松平 浩, 岩崎 稔, 大内美穂, 恩田 啓, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 第 4 腰椎変性すべり症による神経根障害に対し水中運動療法が奏功した一例. 第 12 回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S106.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛の誘因の有無が入院型ペインマネジメントプログラムの効果に及ぼす影響. 第 11 回日本運動器疼痛学会; 20191201; 東京.

## [シンポジウム]

二階堂琢也, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 福島県における脊椎外科手術レジストリの現状. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):201.

二階堂琢也, 矢吹省司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎疾患に対する脊椎内視鏡と O-arm ナビゲーション併用手術の有用性. 第 68 回東日本整形災害外科学会; 20190905; 東京. 東日本整形災害外科学会雑誌. 31(3):241.

二瓶健司, 高橋直人, 松平 浩, 岩崎 稔, 春山祐樹, 大内美穂, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 慢性腰痛治療に対する多職種アプローチ—慢性腰痛に対する多職種での集学的治療における運動療法の実践—. 第 27 回日本腰痛学会;

20190914; 兵庫.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 増子博文, 矢部博興, 紺野慎一. 疼痛と神経科学 慢性腰痛の診断と治療集学的アプローチの現状と課題. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術集会; 20191128; 福島. 臨床神経生理学. 47(6):349.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手の脊椎障害に対するメディカルサポート. 第 138 回西日本整形・災害外科学会学術集会; 20191130-1201; 佐賀. 整形外科と災害外科. 68(2):35.

## 周産期・小児地域医療支援講座

### 論 文

#### 〔原 著〕

Go H, Ohto H, Nollet KE, Kashiwabara N, Ogasawara K, Chishiki M, Miyazaki K, Sato K, Sato M, Kawasaki Y, Momoi N, Hosoya M. Perinatal Factors Affecting Coagulation Parameters at Birth in Preterm and Term Neonates: A Retrospective Cohort Study. *American Journal of Perinatology*. 201912; 36(14):1464-1470.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Abe M; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. The effect of the Great East Japan Earthquake on hypertensive disorders during pregnancy: a study from the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*. 20190401; doi: 10.1080/14767058.2019.1594763.

Soeda S, Kyozuka H, Kato A, Fukuda T, Isogami H, Wada M, Murata T, Hiraiwa T, Yasuda S, Suzuki D, Yamaguchi A, Hasegawa O, Nomura Y, Jimbo M, Takahashi T, Watanabe T, Mizunuma H, Fujimori K. Establishing a Treatment Algorithm for Puerperal Genital Hematoma Based on the Clinical Findings. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201910; 249(2):135-142.

安田 俊, 水沼英樹. 【妊娠・授乳と骨・カルシウム代謝】妊娠・授乳と骨・カルシウム代謝. *Clinical Calcium*. 201901; 29(1):19-26.

#### 〔症例報告〕

渡邊涼介, 知識美奈, 佐藤賢一, 柏原祥曜, 宮崎恭平, 清水裕美, 小笠原啓, 郷 勇人, 佐藤真紀, 桃井伸緒. 胎児母体間輸血症候群を契機に胎盤内絨毛癌の診断に至った 1 女児例. *日本産婦人科・新生児血液学会誌*. 201905; 29(1):29-30.